

## ◆ 今週のコメント

- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、0.24(10例)で、先週(0.20)に比べ増加しています。例年夏季にはほとんど報告がありませんが、本年は、第31週(7月30日～8月5日)より連続して報告があり、過去5年平均値を上回っています。今後の動向にご注意ください。
- ・ 水痘の定点当たり報告数は、0.51(21例)で、先週に比べ増加し、過去5年平均値を上回っています。年齢階級別では、4歳以下の占める割合が、81.0%(17例)となっています。
- ・ 基幹定点からのマイコプラズマ肺炎の報告が2例あります。全国の定点当たり報告数は0.98で、第14週(4月2日～8日)以降は増減を繰り返しながらも、増加傾向にありますので、今後の動向にご注意ください。

## ◆ 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

平成24年4月から6月末までの報告数は、AIDS患者1例、HIV感染者1例の計2例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 4例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 3例  
【1月以降の累積報告数 298例(肺結核 116例, その他結核 67例, 潜在性結核感染者 115例)うち喀痰塗抹陽性 59例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

| 定点              | 感染症名            | 定点当たり報告数 | 報告数 |
|-----------------|-----------------|----------|-----|
| インフルエンザ         | インフルエンザ         | 0.00     | 0   |
| 小児科<br>(降順5位まで) | ① 感染性胃腸炎        | 2.20     | 90  |
|                 | ② ヘルパンギーナ       | 0.63     | 26  |
|                 | ③ 水痘            | 0.51     | 21  |
|                 | ④ 手足口病          | 0.44     | 18  |
|                 | ⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.41     | 17  |
| 眼科              | 流行性角結膜炎         | 0.40     | 4   |

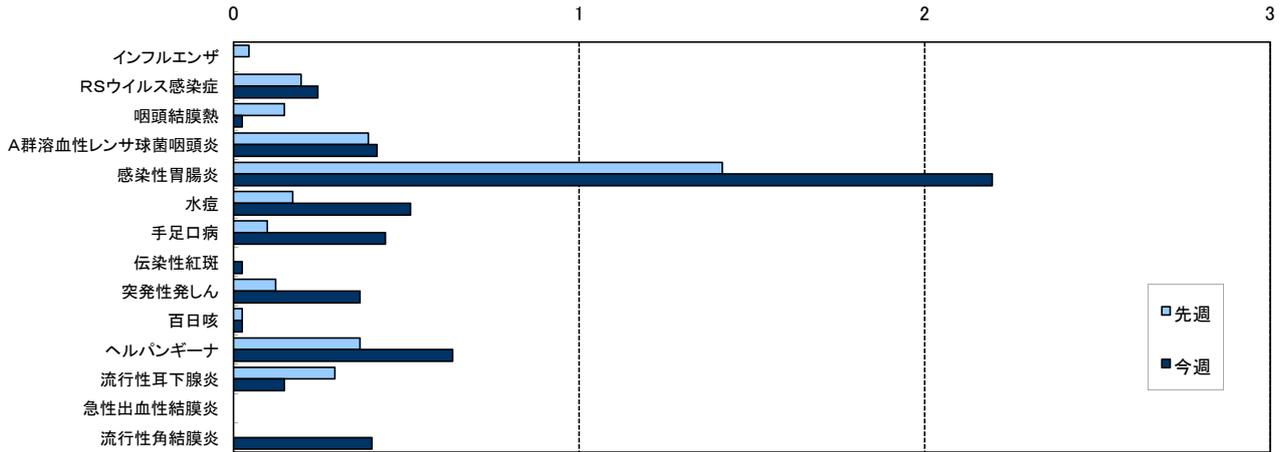
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

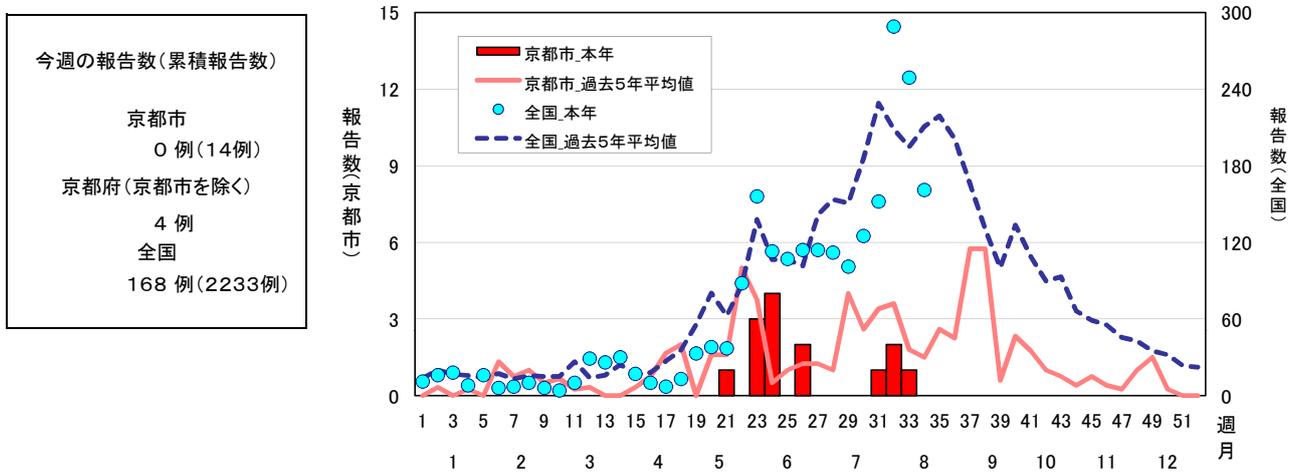
(注)京都市のデータは、平成24年8月30日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第34週)と先週(第33週)の定点当たり報告数の比較



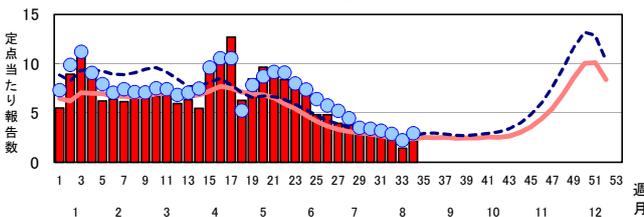
## 2 腸管出血性大腸菌感染症の推移



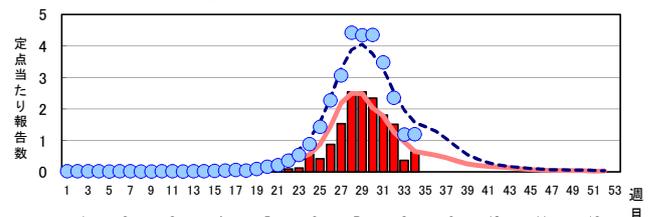
## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

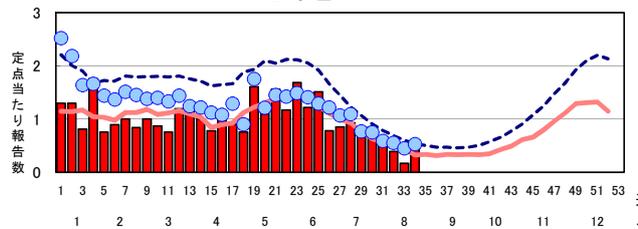
1 感染性胃腸炎



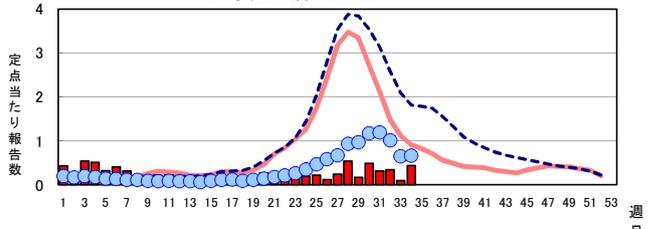
2 ヘルパンギーナ



3 水痘

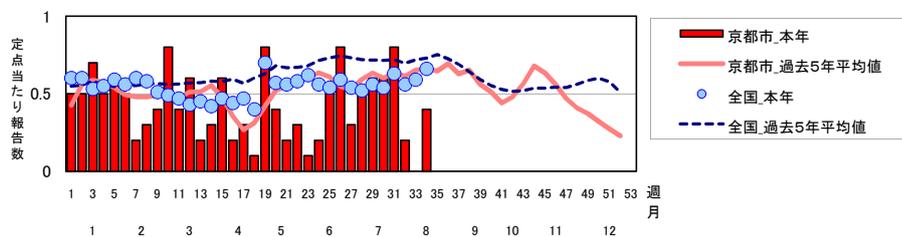


4 手足口病



<眼科定点>

流行性角結膜炎



## 第34週(8月20日～8月26日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成24年4月から6月末までの報告数は、AIDS患者1例、HIV感染者1例の計2例で、すべて男性です。年齢階級別は30歳代、40歳代が各1例です。推定感染経路は、すべて性行為感染(異性間1例、同性間1例)で、推定感染地域はすべて国内です。

平成24年1月から3月末までの報告はなく、平成24年1月から6月末までの累積報告数は2例となり、1月から6月末までの累積報告数としては、平成12年以降、最も少なくなっています。

平成12年以降の累積報告数は186例で、性別は、男性173例(93.0%)、女性13例(7.0%)となっています。推定感染経路は、性行為感染が145例で、後天性免疫不全症候群全体(186例)の78.0%を占めています。中でも、同性間の性行為感染が84例と最も多く、全体の45.2%を占めています。

### 年次別報告数の推移

| 報告年          | 総数  | AIDS患者 | HIV感染者 | 男   | 女  |
|--------------|-----|--------|--------|-----|----|
| 平成12年        | 6   | 3      | 3      | 5   | 1  |
| 平成13年        | 6   | 2      | 4      | 6   | 0  |
| 平成14年        | 9   | 4      | 5      | 8   | 1  |
| 平成15年        | 11  | 2      | 9      | 11  | 0  |
| 平成16年        | 21  | 2      | 19     | 18  | 3  |
| 平成17年        | 9   | 3      | 6      | 9   | 0  |
| 平成18年        | 25  | 8      | 17     | 23  | 2  |
| 平成19年        | 22  | 7      | 15     | 19  | 3  |
| 平成20年        | 21  | 6      | 15     | 18  | 3  |
| 平成21年        | 22  | 10     | 12     | 22  | 0  |
| 平成22年        | 17  | 6      | 11     | 17  | 0  |
| 平成23年        | 15  | 5      | 10     | 15  | 0  |
| 平成24年(1月～6月) | 2   | 1      | 1      | 2   | 0  |
| 総計           | 186 | 59     | 127    | 173 | 13 |

### 推定感染経路別 年次別報告数の推移

